

泉佐野市
ひとり親家庭に関する
アンケート調査結果（概要）

令和６年３月

アンケート調査の概要

1 調査の目的

第四次泉佐野市ひとり親家庭等自立促進計画を策定するにあたり、ひとり親家庭及び寡婦家庭（以下、「母子家庭等」という）の生活状況や福祉サービスの利用状況、利用意向、要望等を把握し、計画策定の基礎資料として母子家庭等の推進を図ることを目的として実施しました。

2 調査概要

- ◇調査対象者：令和 5 年 8 月 1 日現在、市内在住の母子家庭の母・父子家庭の父・寡婦
- ◇調査期間：令和 5 年 8 月 1 日～令和 5 年 12 月 31 日
- ◇調査方法：郵送及び児童扶養手当現況届提出時に配布し直接回収とWEB回収

3 回収結果

- ◇有効回収数：310 件（直接回収 66 件、WEB回収 244 件）
- ◇有効回収率：30.1%

4 調査結果

（１）調査対象者について

回答者の年齢 40代と30代で約7割

ひとり親家庭となった理由 性格の不一致約3割（最も高い）

（２）仕事について

就業形態

正職員・正規職員 離婚前 23.5% 離婚後すぐ 34.2% 現在 42.6%

パート・アルバイト・臨時職員等 離婚前 47.7% 離婚後すぐ 51.6% 現在 33.9%

ひとり親となってから転職した人 約4割

転職を考慮する際に重要とされること

時給・給与が高い 大変重要と重要を合わせると 92.9%

正規職員・従業員になれる 大変重要と重要を合わせると 84%

ひとり親家庭になったタイミングで、収入等が安定した雇用形態に転職を考える傾向

仕事を探す際に利用した情報源

インターネット 49.4% ハローワーク 35.8% 折込みチラシ 20.0%

（３）資格・技能について

習得したい資格・技能 パソコン 26.1% 医療事務 11.0% 簿記 11.0% 看護師 7.7%

（４）収入と養育費等について

年間総収入 200万円未満 5割強

世帯収入の種類 本人の就労収入 89.4% 児童扶養手当 53.5% 児童手当 50.6%

養育費の取り決めについて 取り決めをしていない 49.8% 取り決めをしている 43.2%

調停・裁判で取り決め 14.4% 口頭又は、私的書面 16.9%

公正証書等で取り決め 11.9%

取り決めた養育費について 守られている 50.5% 守られていない 30.5%

養育費を受取っていない 66.3% 受け取っている 22.6% 時々受け取っている 2.9%

受取金額 2～4万円

受け取っていない理由 相手に支払う意思や能力がなかったから 47.2%

相手と関わりたくない 44.1%

相手方との交渉がわずらわしかったから 20.5%

【資料 4－⑤】

面会交流の取り決めについて 取り決めをしていない 62.6% 取り決めをしている 28%

受け取っていない理由 相手と関わりたくない 38.8%

相手が面会交流を希望しない 35.5%

子どもが会いたがらない 19.1%

現在行っている 2割強

（5）住居について

家賃 5～7万円未満 28.7% 2万円～3万円未満 19.6% 1万円～2万円未満 13.3%

住居探しや入居時の困りごと 家賃が高い 38.7% 希望の場所に物件がない 19.0%

府営住宅等になかなか入れない 13.5%

（6）生活全般・各種制度について

自身の困りごと 家計のこと（就労収入が少ない） 42.3%

仕事のこと（時給・給与が低い） 31.9%

健康のこと 23.9%

子どものことでの困りごと 教育・進学（経済的理由） 39.7%

特に悩みはない 27.7%

教育・進学（その他の理由） 17.7%

（7）制度や施策の認知・利用状況について

相談先 家族・親戚 73.5% 友人・知人 54.5% 職場の人 18.1%

施設や制度の利用状況・施設や制度の認知度

制度を知っている人は、高いもので7割台、低いもので3・4割前後であるが、利用したことがある人は1割に満たない

望む支援策 子どもの就学援助の拡充 47.1%

年金・児童扶養手当の拡充 46.8%

医療費負担の軽減 31.3%